



理事長（肝臓・消化器内科） 藤山 重俊

最近のトピックス Topics

非アルコール性脂肪肝炎 (NASH) 生活習慣病に伴う肝疾患

近年、飲酒の習慣がないかほとんど飲酒しないにもかかわらず、肥満、糖尿病、脂質異常症、高血圧など、いわゆる生活習慣病が原因で脂肪肝を発症するケースが増えています。これを「非アルコール性脂肪性肝疾患 (NAFLD)」といい、その多くは目立った症状がないため自覚していないまま放置されており、原因不明の慢性肝疾患のかなりを占めているものと推測されています。

その多くは単純な脂肪肝 (NAFL) で比較的良性的の疾患ですが、NAFLDの20%は炎症や線維化がある「非アルコール性脂肪肝炎 (NASH)」とされて、さらに肝硬変や肝癌に移行する予後不良のものです。現在、日本にNAFLDは1,000～1,500万人、そしてNASHは約200万人いると推定されています。NASHの原因解明は未だ不十分ですが、発症リスクとして遺伝子多型と生活習慣、とくに成人後の体重増加が、また肝発癌のリスクとして肝線維化ステージが極めて重要とされています。一方、糖尿病患者の10人に1人が肝臓病で亡くなっており、最近診断される肝癌の半数近くがB型およびC型肝炎以外の非ウイルス性で占められています。加えて、ウイルス性と違って非ウイルス性肝癌は囲い込みとフォローアップがなされていないため、残念ながら進行癌となって診断されることもしばしば経験します。すなわち、かつては「たかが脂肪肝」でしたが、最近では“隠れ脂肪肝が危ない”として注目されています。

単純な脂肪肝 (NAFL) の場合も生活習慣の改善（食事と運動療法による減量）や糖尿病、脂質異常症、高血圧症などの生活習慣病の治療が必要です。加えて、NASHの場合には肝線維化を改善ないし抑制することが重要です。現在、多数のグローバルな治験が進行中で当科でもいくつか参加しています。

NAFLかNASHかの最終診断は肝生検による組織学的評価によってなされますが、まずは肝線維化を非侵襲的に評価することが重要です。年齢と血液生化学的データ (AST、ALT、血小板数) を用いたスコアリングシステムである「FIB-4 index」は簡便に肝線維化の程度を確認できます。すなわち、このFib-4 indexが1.3以上であれば専門施設に紹介し、肝線維化を弾性度として測定する超音波診断装置 (Fibroscan) で評価して、そのうえで必要な場合は肝生検をするのが現実的です。当科ではFibroscanは勿論、肝生検も積極的に施行しており、多数の経験がありますので是非ご紹介いただきますようお願い申し上げます。

※参考：FIB-4 indexの算出方法

$$\left(\frac{\text{AST (IU/L)} \times \text{年齢 (歳)}}{\left(\frac{\text{血小板数 (10}^3\text{/L)}^*}{\text{※0.1万}/\mu\text{L}} \right) \times \sqrt{\text{ALT (IU/L)}} \right)$$

★日本肝臓学会のホームページのFIB-4 index計算サイトのご案内 (EAファーマ提供) (医療従事者向け) にアクセスすると数値を記入するだけですぐ結果が得られます。

理念

私たちくまもと森都総合病院は質の高い医療を通じて地域に愛され親しまれる病院を目指します。

基本方針

患者さんとの良好なパートナーシップを築き、満足度の高い、心かよう医療の提供に努めます。地域医療機関との連携を密にし、地域に根ざした医療サービスを推進します。優れた医療人を育成し、安全で質の高い医療を提供します。



つながる医療。ひろがる未来。

医療法人 創起会

くまもと森都総合病院

〒862-8655 熊本市中央区大江 3-2-65

TEL 096-364-6000 (代表)

FAX 096-362-5204

https://www.k-shinto.or.jp



左から 松尾敦子皮膚科部長、城野昌義特別顧問、荒木聖菜皮膚科医師、工藤恵理奈皮膚科医長

診療科紹介 皮膚科

皮膚科は4人の専門医で様々な皮膚疾患に対応しています。先生方の患者様で皮膚疾患に悩んでおられる患者様がおられましたら、是非当院をご紹介いただき、診療から治療まで心を含めた医療を提供させていただきます。

診療内容：様々な皮膚、毛髪、爪の症状について診療を行っており、外来の一般診療に加えて、入院が必要となる皮膚疾患にも対応しています。

外来では、乾癬、慢性蕁麻疹、アトピー性皮膚炎、掌蹠膿疱症、化膿性汗腺炎に対して、生物学的製剤による治療を行っています。特殊な治療であり使用する際には様々な条件を満たす必要がありますが、長年皮膚症状によって悩まれてきた患者様も、非常に良好な効果を得られております。

入院での治療を行うのは、主に皮膚感染症（蜂窩織炎、带状疱疹など）、類天疱瘡、難治性皮膚潰瘍、中毒疹、薬疹、皮膚腫瘍の手術などです。

皮膚は内臓の鏡といいますが、皮膚の状態によって内臓の病気を発見できることがあります。また、他の病気の治療の副作用として皮膚症状が出現することも多いです。総合病院の利点を生かして、他科と連携して治療を行っていきます。皮膚症状でお困りの際は、是非ご相談ください。

外 来：検査は皮膚生検、パッチテスト（パッチテストパネル、金属パッチテスト）、真菌検査等を行っています。

特殊な治療：

- ①生物学的製剤治療（対象疾患：乾癬、掌蹠膿疱症、化膿性汗腺炎、アトピー性皮膚炎、突発性慢性蕁麻疹）
- ②光線治療：ナローバンドUVB全身型、エキシマライト（対象疾患：乾癬、類乾癬、掌蹠膿疱症、菌状息肉症、悪性リンパ腫、アトピー性皮膚炎、円形脱毛症、尋常性白斑など）
- ③局所免疫療法（対象疾患：難治性円形脱毛症）

入 院：入院となる場合は、次の6つの疾患によって治療を行っています。

- ①皮膚感染症（蜂窩織炎、丹毒、带状疱疹（下記参照）、カポジ水痘様発疹症など）
- ②炎症性皮膚疾患の増悪（アトピー性皮膚炎、慢性湿疹、中毒疹、乾癬、蕁麻疹など）

- ③自己免疫性水疱症（水疱性類天疱瘡、尋常性天疱瘡、落葉状天疱瘡）
※ステロイド投与、皮膚科軟膏処置、免疫グロブリン投与などを行います
- ④専門的処置を必要とする疾患（難治性皮膚潰瘍、褥瘡（ポケット切開））
- ⑤血管炎など安静が必要な疾患
- ⑥腫瘍切除

带状疱疹について：

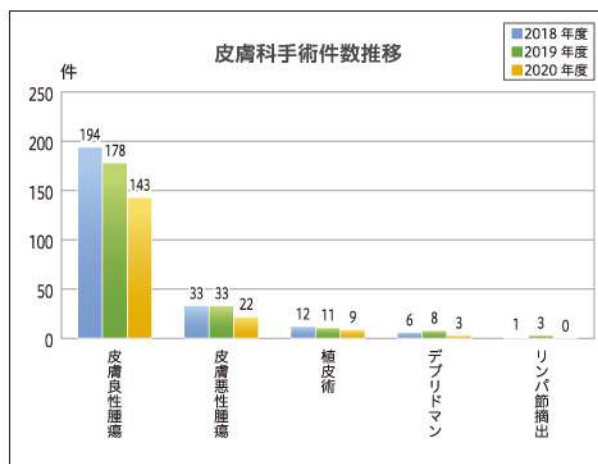
带状疱疹は効果の優れた内服薬の登場により外来治療が主体ではありますが、発熱など全身症状を伴う方、皮疹がひどく自宅での処置が難しい方、痛みが強い方、合併症があり重症化のリスクが高い方などは入院加療を行います。特に痛みが強い方は麻酔科によるブロック注射を併用することができ、带状疱疹後神経痛のリスクを減らすことができます。

手 術：皮膚良性腫瘍、悪性腫瘍の手術を行っています。

腫瘍の部位や大きさなどにより、外来日帰り手術、入院での局所麻酔、全身麻酔による手術に対応しており、植皮や皮弁術による切除後の再建も行っています。

悪性黒色腫、バジレット病など高度の専門性を要する皮膚がんや、治療に放射線照射や化学療法が必要な場合には熊本大学皮膚科・形成再建科と連携しています。

（皮膚科部長 松尾 敦子）





1

外来予約依頼書を当院へFAXをお願いします。

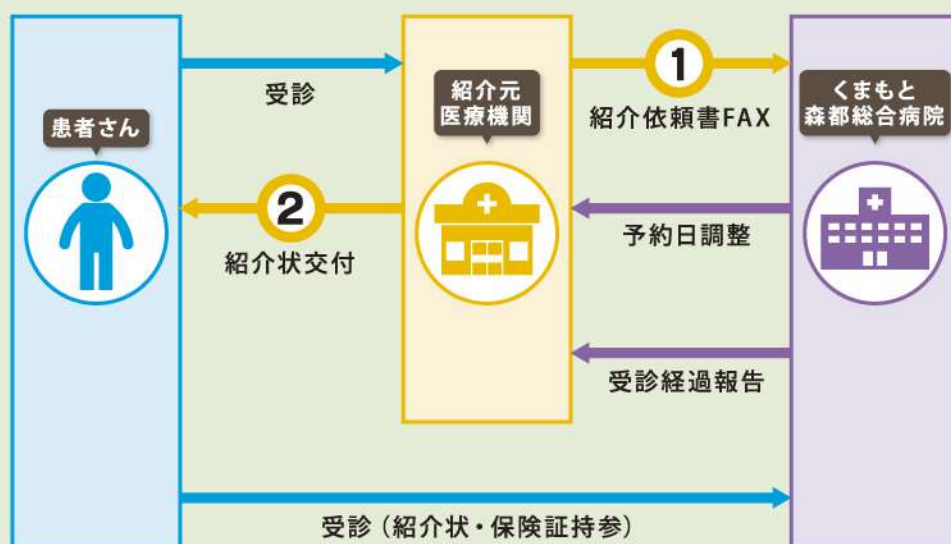
外来予約依頼書を当院地域医療連携室へFAX (096-364-8585) ください。所定書式を準備しております。当院ホームページからダウンロードも可能です。

<https://www.k-shinto.or.jp/> トップページ > 医療関係者の方へ > 患者紹介について

2

患者さんへ紹介状をお渡しいただきますようお願いいたします。

受診予定日が決まりましたら貴院へ予約票をFAXさせていただきます。
患者さんに紹介状(診療情報提供書)をお渡しいただき、受診当日にご持参いただけますようお願いいたします。



紹介予約 (FAX予約) 受付時間

平日9時00分から16時00分まで

FAX送付先 地域医療連携室

FAX 096-364-8585

※受付時間外にいただきましたFAX紹介につきましては、翌診療日に予約調整とさせていただきます。

電話紹介
について

緊急性が高く、当日受診が必要な患者さんのご紹介はお電話にてお願いいたします。

ご不明な点につきましては下記までお電話くださいますようお願いいたします。

地域医療連携室 Tel.096-364-9790 Fax.096-364-8585



医療法人 創起会

くまもと森都総合病院

外来診療担当医一覧

〒862-8655
熊本市中心区大江三丁目2番65号
TEL 096 - 364 - 6000 (代表)
FAX 096 - 362 - 5204
URL : https://www.k-shinto.or.jp

受付時間

午前 8:00 ~ 11:00 (再来機の受付は7:30より開始)

午後 12:30 ~ 15:30

2021年5月1日~

	午前/午後	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	
内科診療：午前〔初診及び再診〕・午後〔再診のみ〕							
総合診療科	午前	吉田 健	吉田 健	吉田 健 再診	吉田 健		
循環器内科	午前	中村 尚太		中村 尚太	中村 尚太	中村 尚太	
	午後	中村 尚太		中村 尚太			
肝臓・消化器内科	午前	藤山 重俊	宮瀬 志保	藤山 重俊	宮瀬 志保	柚留木 秀人	
		柚留木 秀人	三浦 浩美	束野 奈津己	束野 奈津己	三浦 浩美	
血液内科	午前	藤原 志保	藤原 志保	下村 泰三	藤原 志保	下村 泰三	
		神谷 千晴	鈴島 仁	渡邊 祐子	渡邊 祐子	鈴島 仁	
			宮川 寿一				
	午後	下村 泰三			宮川 寿一		
			渡邊 祐子		鈴島 仁	神谷 千晴	
呼吸器内科	午前			石丸 裕子 (熊大) 再診			
腎臓内科	午前				水足 謙介	水足 謙介	
	午後	水足 謙介					
リウマチ 膠原病内科	午前	高岡 宏和 初診	高岡 宏和 再診		高岡 宏和 再診		
	午後			高岡 宏和 再診			
禁煙外来	午前		大津 哲郎 (9:00 ~ 10:00)				
代謝・内分泌内科	午後			黒岩 花織 (熊大) 再診			
乳腺センター (乳腺外科)	午前 8:30 ~ 12:00 午後 14:00 ~ 16:00	午前	初診担当医 再診	手術	初診担当医 再診	手術	初診担当医 再診
		午後 (再診)	西村 令喜	西村 令喜	西村 令喜	西村 令喜	西村 令喜
			大佐古 智文	大佐古 智文	大佐古 智文	大佐古 智文	大佐古 智文
			奥村 恭博	奥村 恭博	奥村 恭博	奥村 恭博	奥村 恭博
			大塚 弘子	大塚 弘子	大塚 弘子	大塚 弘子	大塚 弘子
			中野 正啓	中野 正啓	中野 正啓	中野 正啓	中野 正啓
藤末 真実子	藤末 真実子	藤末 真実子	藤末 真実子	藤末 真実子			
外科	午前	山中 剛	田嶋 ルミ子	田嶋 ルミ子	山中 剛	山中 剛	
	午後	田嶋 ルミ子					
整形外科	午前 初診 再診	高田 興志	鶴野 拓也	高田 興志	山部 聡一郎	鶴野 拓也	
		山部 聡一郎	高田 興志	山部 聡一郎	鶴野 拓也	高田 興志	
皮膚科	午前	工藤 恵理奈	松尾 敦子	松尾 敦子	荒木 聖菜	松尾 敦子	
		城野 昌義 再診	荒木 聖菜	工藤 恵理奈	城野 昌義 再診	工藤 恵理奈	
	午後	予約注射のみ	手術		予約注射のみ	手術	
産婦人科	午前	永井 隆司	永井 隆司	永井 隆司	永井 隆司	永井 隆司	
		岡島 翠	岡島 翠	岡島 翠	岡島 翠	岡島 翠	
	午後	片淵 秀隆 再診	片淵 秀隆 再診	手術	片淵 秀隆 再診	永井 隆司 初診予約 岡島 翠 (検診)	
眼科	午前	松本 光希 8:30 診療開始	松本 光希 9:30 診療開始	松本 光希 8:30 診療開始	手術	松本 光希 8:30 診療開始	
		松村 智世 8:30 診察開始	松村 智世 8:30 診察開始	松村 智世 9:30 診察開始		松村 智世 9:30 診察開始	
		西澤 麻保 9:30 診察開始	西澤 麻保 8:30 診察開始	西澤 麻保 8:30 診察開始		西澤 麻保 8:30 診察開始	
	午後	手術	特殊外来	手術	手術	手術	
放射線科 (畑中義美・西東葉子)	午前	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	
	午後	担当医	担当医		担当医		
麻酔科 ペインクリニック (担当医不在時：サブ)	午前 午後 『完全予約制』	大津 哲郎		田口 裕之		大津 哲郎	
		サブ：田口 裕之		サブ：大津 哲郎		サブ：田口 裕之	
		洲崎 祥子 再診 13:00 ~ 14:00 初診 14:00 ~ 16:00		洲崎 祥子 再診 13:00 ~ 16:00			
		サブ：大津 哲郎		サブ：田口 裕之			
緩和ケア (面談)	午前	橋口 清明	橋口 清明	橋口 清明	橋口 清明	橋口 清明	
腫瘍精神科	午前	木下 裕子	木下 裕子	木下 裕子	木下 裕子	木下 裕子	